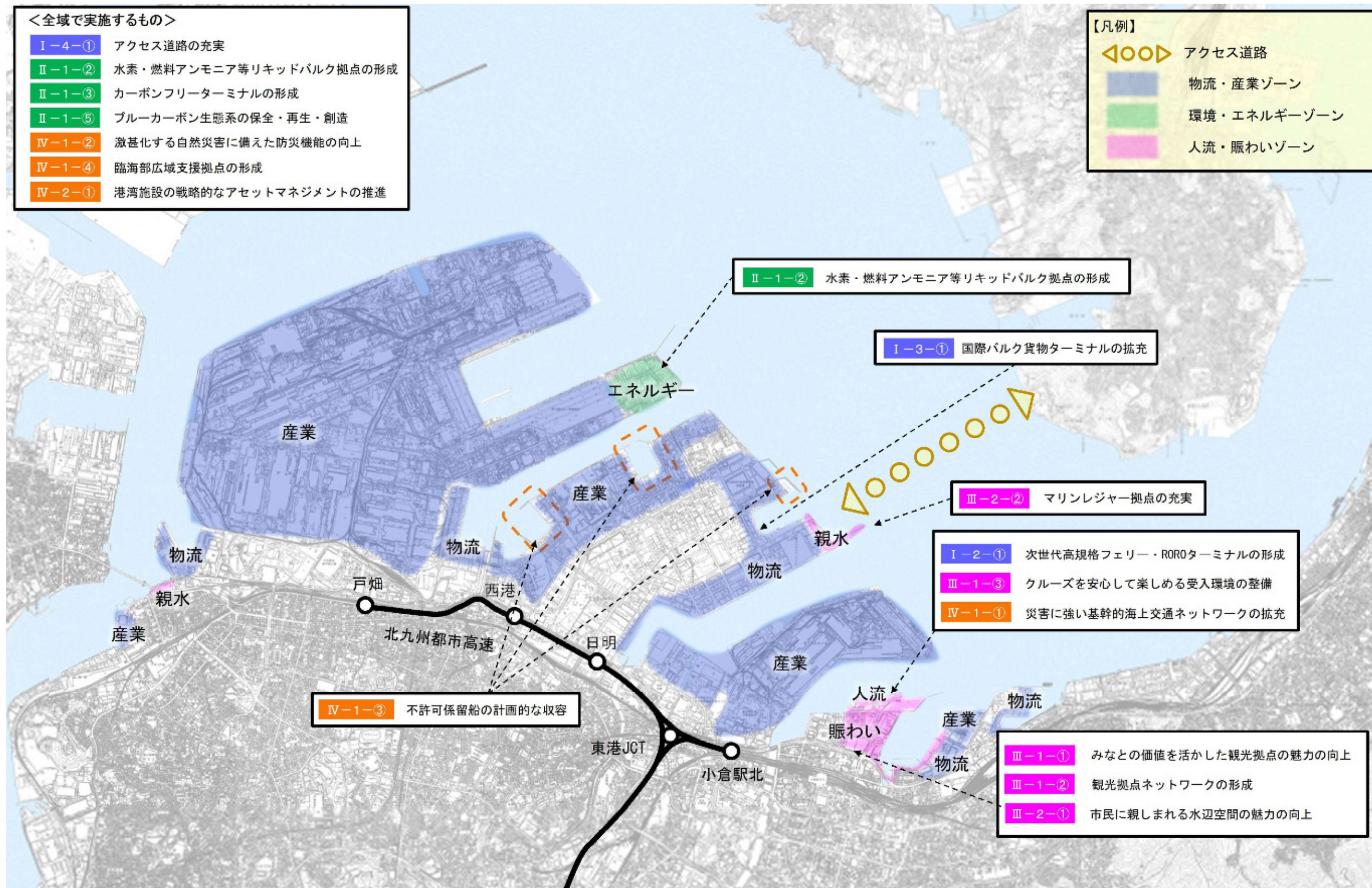
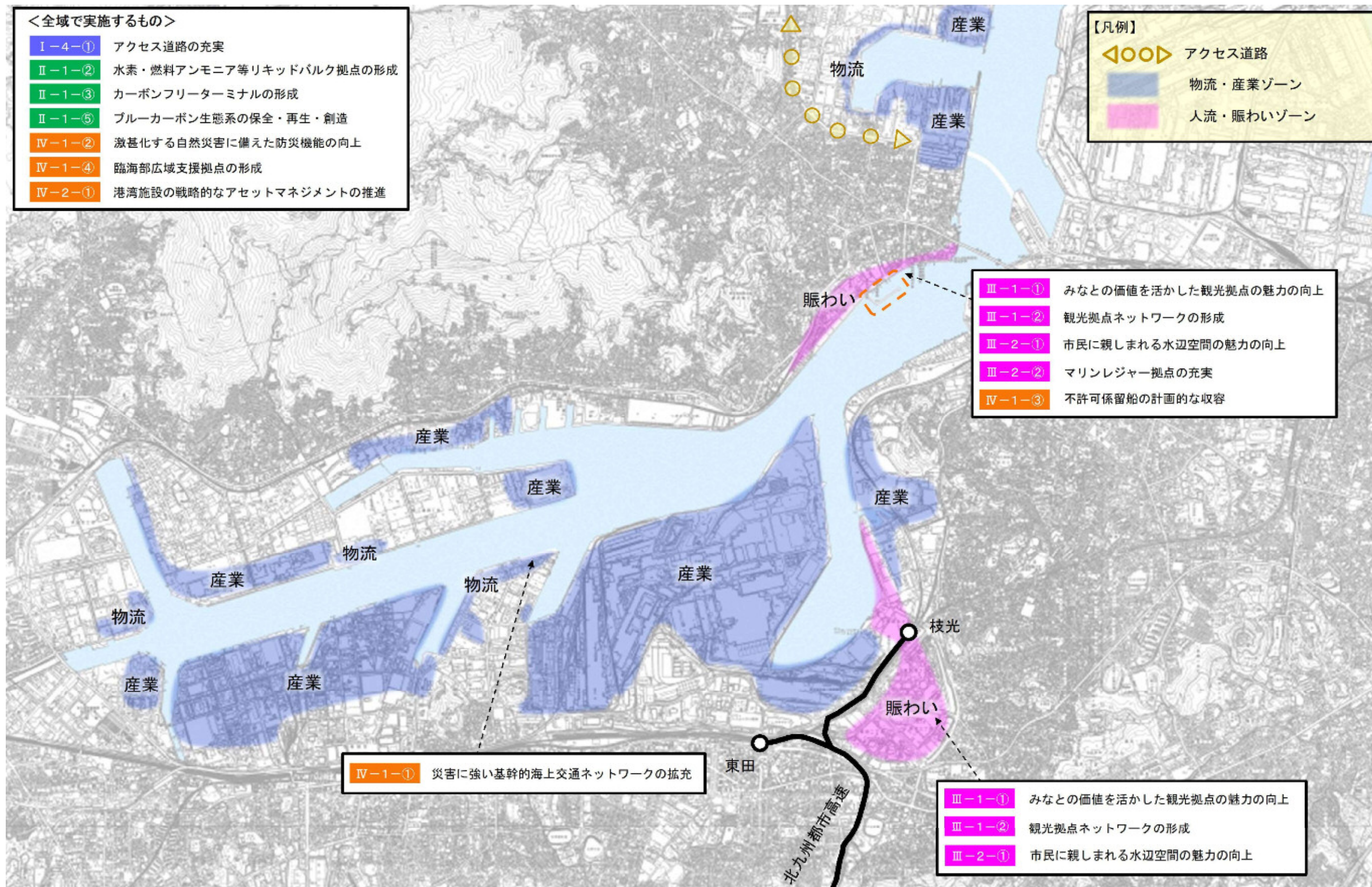


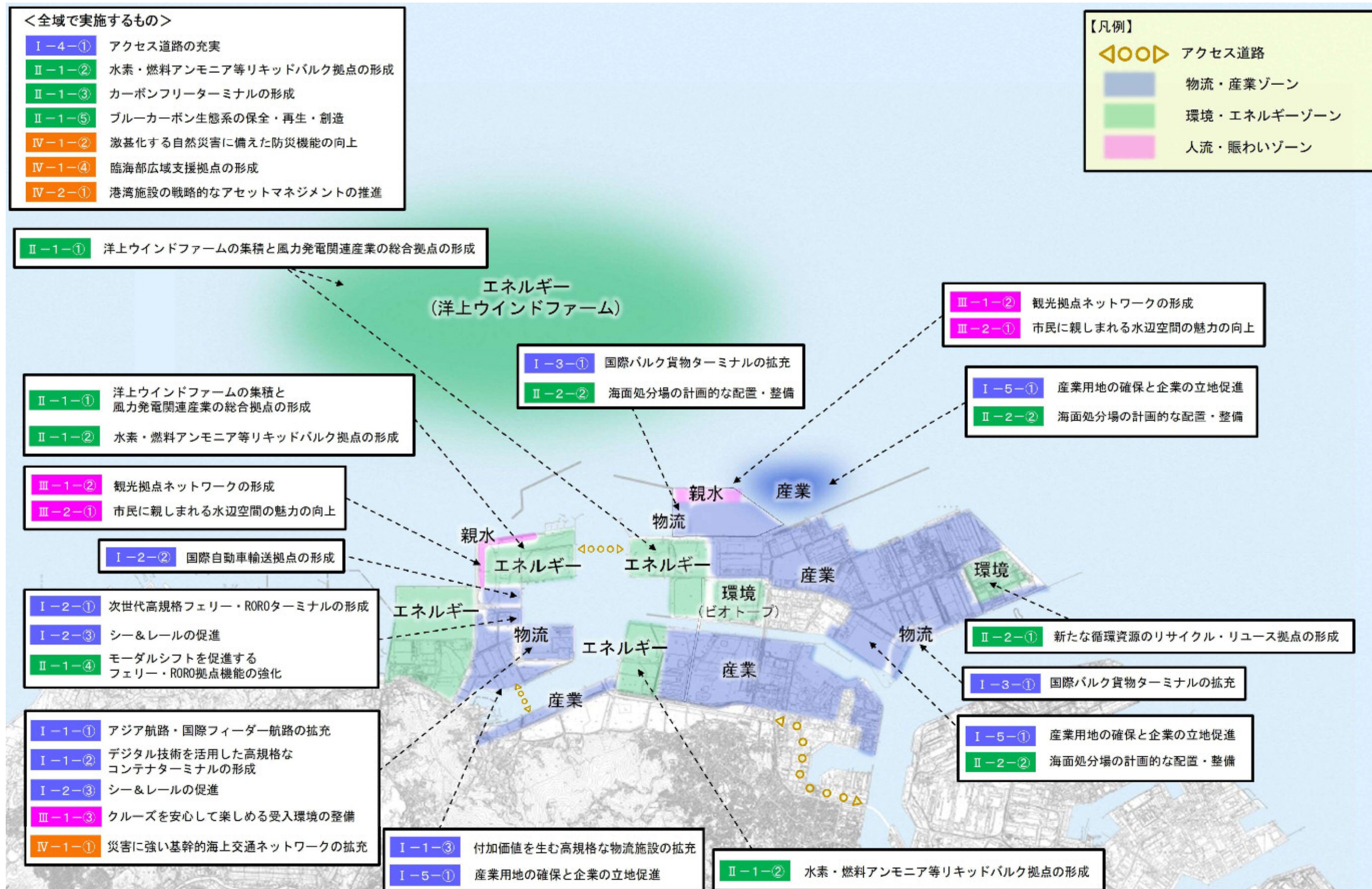
<砂津・許斐・日明・戸畑地区>



<八幡、黒崎、二島、若松、北湊地区>



<響灘東・響灘西地区>



5.5 具体施策のスケジュール

【物流・産業】

I 世界とつながり産業を支えるみなと

具体施策	施策内容	目標時期		地区
		短期・中期	長期	
I-1 コンテナ輸送機能の強化				
I-1-① アジア航路・国際 フィーダー航路の拡充	福岡県内・東九州・本州方面の集貨			太刀浦、響灘西
	日本海側港湾間を結ぶ航路による広域集貨			響灘西
I-1-② デジタル技術を活用した高規格な コンテナターミナルの 形成	Cyber Port、COMPAS等の導入・連携			太刀浦、響灘西
	コンテナ蔵置場所最適化を図るAIシステム、 遠隔操作RTG等の導入			太刀浦、響灘西
	太刀浦CTの再編			太刀浦
I-1-③ 付加価値を生む 高規格な物流施設の拡充	老朽化した倉庫群の再編			太刀浦
	CT背後等への流通加工・組立加工機能を有する 物流施設の立地促進			新門司沖、太刀浦、 響灘西
	高速道路I0周辺へ先進的物流施設の立地促進			小倉東IC付近、 八幡IC付近
I-2 複合一貫輸送機能の強化				
I-2-① 次世代高規格フェリー・ ROROターミナルの 形成	自動離着岸装置、ターミナル内横持ち自動運転の導入			新門司、田野浦、砂津、 響灘西
	フェリー荷捌き地の拡張			新門司
	フェリー・ROROターミナルの整備			新門司、響灘西
I-2-② 国際自動車輸送拠点の 形成	自動車の輸出機能の強化			新門司、響灘西
I-2-③ シー&エア、 シー&レールの促進	シー&エアの促進			新門司沖
	シー&レールの促進			新門司、響灘西
I-3 在来貨物輸送機能の強化				
I-3-① 国際バルク貨物 ターミナルの拡充	バルク岸壁の整備			響灘東ほか
I-4 臨海部交通ネットワークの強化				
I-4-① アクセス道路の充実	道路機能の強化、広域ネットワークの強化			
I-5 先端成長産業や物流産業等の集積				
I-5-① 産業用地の確保と 企業の立地促進	産業用地の確保			
	先端成長産業等の誘致			

【環境・エネルギー】

II カーボンニュートラルや循環型社会の実現を牽引するみなと

具体施策	施策内容	目標時期		地区
		短期・中期	長期	
II-1 港湾を活用したカーボンニュートラルの実現				
II-1-① 洋上ウインドファームの集積と風力発電関連産業の総合拠点の形成	洋上ウインドファームの集積			響灘東、響灘西
	風力発電関連産業の総合拠点の形成			響灘東、響灘西
II-1-② 水素・燃料アンモニア等リキッドバルク拠点の形成	水素・燃料アンモニア等の輸入等の環境整備			響灘東、響灘西ほか
	再生可能エネルギーを利用した水素等の製造			
	カーボンフリーな代替燃料のバンカリング拠点の形成			
II-1-③ カーボンフリーターミナルの形成	公共ターミナルにおける水素等の利活用			
II-1-④ モーダルシフトを促進するフェリー・RORO拠点機能の強化	(再掲) 自動離着岸装置、ターミナル内横持ち自動運転の導入			新門司、田野浦、響灘西
	(再掲) フェリー荷捌き地の拡張			新門司
	(再掲) フェリー・ROROターミナルの整備			新門司、響灘西
II-1-⑤ ブルーカーボン生態系の保全・再生・創造	藻場の造成			
	ブルーカーボン・オフセット制度の活用			
II-2 港湾を活用した循環型社会の実現				
II-2-① 新たな循環資源のリサイクル・リユース拠点の形成	次世代循環資源の広域利用の促進			響灘東
II-2-② 海面処分場の計画的な配置・整備	海面処分場の整備			新門司、太刀浦、響灘東

【人流・賑わい】

III 国内外の人々が訪れ、賑わい、憩うみなと

具体施策	施策内容	目標時期		地区
		短期・中期	長期	
III-1 観光振興の推進				
III-1-① みなとの価値を活かした観光拠点の魅力の向上	民間活力を導入した公共上屋等の活用			門司港レトロ、砂津、八幡、若松
	グリーンスローモビリティ等の導入			
	デジタル技術の活用			
III-1-② 観光拠点ネットワークの形成	周遊クルーズ等の促進			
	観光拠点間の周遊性の向上			
III-1-③ クルーズを安心して楽しめる受入環境の整備	遊休地や上屋等の活用と連携した受入機能の強化			門司港レトロ、砂津
	フライ&クルーズの実施			新門司沖
	既存貨物ターミナルを活用した受入れ			響灘西
	寄港地から観光目的地までの第2次交通77tXにおけるMaaSの活用や旅行商品の企画			
III-2 海辺の賑わいの創出				
III-2-① 市民に親しまれる水辺空間の魅力の向上	サイクリングや散歩等が楽しめる水辺空間の活用			
	デジタル技術の活用による水辺空間の付加価値向上			
	SNSやMaaS等の活用による魅力発信、利便性向上			
III-2-② マリンレジャー拠点の充実	マリーナ等の機能強化			新門司北、若松
	釣り施設の活用、釣りを通じた地域振興活動			
	マリンレジャーの事故防止対策			

【安全・安心】

IV 産業活動が継続し、安全・安心を感じられる強靱なみなと

具体施策	施策内容	目標時期		地区
		短期・中期	長期	
IV-1 港湾の防災・減災機能の強化				
IV-1-① 災害に強い基幹的海上交通ネットワークの拡充	耐震強化岸壁の整備	■	■	新門司、太刀浦、西海岸、黒崎、響灘西
	臨港道路の整備	■	■	新門司、太刀浦、黒崎、響灘西
	被災状況を把握するリモートセンシング技術の導入	■	■	
IV-1-② 激甚化する自然災害に備えた防災機能の向上	将来の外力の強大化を考慮した施設の整備	■	■	
	ハザードマップの活用等のソフト対策の実施	■	■	
	港湾関係者の災害対応力の強化	■	■	
IV-1-③ 不許可係留船の計画的な収容	小型船係留施設の整備	■	■	日明、若松
	放置禁止区域の指定	■	■	
IV-1-④ 臨海部広域支援拠点の形成	被災地への緊急物資等の支援	■	■	
	被災地の物流機能の代替	■	■	
IV-2 適正な港湾管理の推進				
IV-2-① 港湾施設の戦略的なアセットマネジメントの推進	戦略的な施設の更新、再編・集約、廃止、利用転換	■	■	
	計画的な維持浚渫の実施	■	■	

5.6 実現に向けて

北九州港長期構想を実現するため、以下に示すような取り組みや体制づくり等を継続的に進めていきます。

①北九州港港湾計画への反映と官民の連携した取り組み

早期に取り組むべき施策については、北九州港港湾計画への反映を行う等、その実現に向け、港湾関係者や関係行政機関等と連携して取り組みを進めます。

②港に対する市民理解の促進

広く市民の方に北九州港の多様な役割や市民生活との関わり合いを理解していただくため、SNS やイベント等を活用した情報発信を行います。

③人材の確保や育成

港湾に関する仕事に従事する人材の確保や育成を促進するため、DX の推進等により働きやすい“みなとづくり”に取り組めます。

④情勢の変化への柔軟な対応

施策を進める途中で、社会経済情勢等が変化する可能性もあることから、情勢の変化を見落とさぬよう、継続的に PDCA サイクルを実行します。

■官民の連携した取り組み事例

《利用しやすい港づくり懇話会》

- ・ 設 立：平成13年12月
- ・ 構 成：官民31団体(オブザーバー含む)
- ・ 取 組：北九州港の振興のため、港湾関係者が一体となり、北九州港の振興策について検討。
策定した振興策について官民一体となって取組み、取組状況についてフォローアップを実施。



図 5-36 懇話会の様子

■官具体施策を円滑に進めるための取り組み事例

《港に対する市民理解の促進》

- ・ 工事見学会やイベントでの船舶の公開等を通じた PR 活動を行う
- ・ 市民の方が気軽に港湾に触れる機会を増やすため、市民に親しまれる水辺空間を創出する。



図 5-37 船舶の一般公開

《人材の確保や育成》

- ・ 産学官が連携して、高校生等に港湾に関わる仕事内容を紹介する機会を設ける等、若年層が港湾に興味を持つ取り組みを行う
- ・ DX の推進による業務の効率化や女性労働者の働きやすい環境整備等の働き方改革を、関係者と連携して進める。

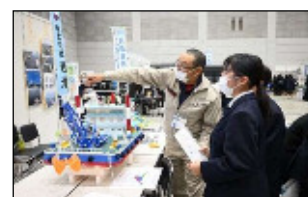


図 5-38 高校生等への海や港の仕事の紹介